

【第3学年及び第4学年目標】		学習指導要領との関連			東京都小学校音楽教育研究会 山の手Bゾーン大会 公開授業 第4学年「お茶小ばやしをつくろう」 千代田区立お茶の水小学校 主任教諭 向 祐佳				
学 期	◎題材名(時数) 主な教材	題材の目標		主な学習内容			◆視点3に 関わる事項		
		(1)知識及び技能の習得 (2)思考力・判断力・表現力等の育成 (3)学びに向かう力、人間性等の涵養	(1)歌唱 (2)器楽 口音楽づくり♪鑑賞 (共)共通教材	A 表 現	B 鑑 賞	〔共通事項〕 ア★音楽を特徴付けている要素 ☆音楽の仕組み イ音符、休符、記号や用語			
1 学 期 17	◎音楽で心の輪を 広げよう (4) ○小さな世界 ○さくら さくら (共)	(1)曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2)旋律、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3)声を合わせて歌ったり、歌詞の様子を思い浮かべながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	アイ ウ(ア) (イ) (ウ)			ア★リズム、旋律、 音の重なり、フレーズ ・『小さな世界』の旋律の特徴を感じ取って歌う。 ・互いの歌声を聴き合いながら、声を合わせて歌い方を工夫する。 ・互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う。 ・『さくら さくら』の曲想と旋律の特徴や歌詞の内容との関わりに気付き、歌詞の表す様子を思い浮かべながら聴いたり、歌ったりする。 ・言葉のまとまりや思い浮かべた様子が伝わるように歌い方を工夫する。 ・日本語の発音に気を付けながら旋律の感じを生かして歌う。	①思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。(技:歌) ②曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。(知:歌) ③思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。(技:歌)	①旋律、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。(歌)	①声を合わせて歌ったり、歌詞の様子を思い浮かべながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(歌)
	◎歌声のひびきを 感じ取ろう (6) ○●いいことありそう ○●風のメロディー ♪パパゲーノとパパゲーナ の二重唱 ○まきばの朝 (共)	(1)曲想及びその変化と、音色や旋律などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、歌唱の技能や、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)歌声に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な歌声の響きに親しむ。	アイ ウ(ア) (イ) (ウ) (ア) (イ) (ウ) (ア) (イ) (ウ)			ア★音色、旋律、 音の重なり、音階、 調、拍 ☆呼びかけとこたえ イ 付点8分音符 16分音符 8分の6拍子 ・『いいことありそう』の旋律の特徴を感じ取り、主な旋律を歌う。 ・ハ長調の音階について知り、音の高さに気を付けて歌う。 ・副次的な旋律を階名唱し、鍵盤ハーモニカで演奏する。 ・主な旋律と副次的な旋律を合わせて演奏し、歌い方を工夫する。 ・8分の6拍子の特徴を感じ取りながら『風のメロディー』の主な旋律を歌う。 ・音色に気を付けて、副次的な旋律をリコーダーで演奏する。 ・8分の6拍子や旋律の特徴を生かした歌い方や演奏の仕方を工夫する。 ・歌とリコーダーの旋律が重なり合う響きを感じ取りながら演奏する。 ・男声と女声の掛け合いや重なりに気を付けて『パパゲーノとパパゲーナの二重唱』を聴く。 ・二人の歌声の掛け合いや重なりが生み出すよさや面白さを味わって聴く。 ・『まきばの朝』の歌詞の内容を理解し、言葉のまとまりに気を付けながら歌う。 ・旋律やフレーズに気を付けながら歌い方を工夫する。 ・歌詞の表す様子にふさわしい声の出し方に気を付けて歌う。	①思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けて歌っている。(技:歌) ②曲想と音色や旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。(知:歌・器) ③思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声やリコーダーによる副次的な旋律を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。(技:歌・器) ④曲想及びその変化と、音色や旋律などの音楽の構造との関わりについて気付いている。(知:鑑) ⑤思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。(技:歌)	①音色、旋律、音の重なり、拍、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもっている。(歌・器) ②音色、旋律、音の重なり、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、二重唱や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。(鑑)	

	◎いろいろなリズムを感じ取ろう(7) ●楽しいマーチ ○●いろんな木の実 □言葉でリズムアンサンブル	(1)曲想とリズムや拍などの音楽の構造との関わり、言葉のリズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能や、反復や変化、呼びかけとこたえを用いてリズムアンサンブルをつくる技能を身に付ける。 (2)リズム、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについてや、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。 (3)拍子やリズムが生み出すよさや面白さに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、音楽づくりの学習活動に取り組み、様々な音楽に見られるいろいろなリズムに親しむ。	ア イ(ア) (イ) ウ(イ) (ウ)	ア(イ) イ(イ) ウ(イ) (ウ)	ア★音色、リズム、強弱、音の重なり、拍 ☆反復、変化 呼びかけとこたえ イ フォルテ メッツォルテ くり返し記号	①曲想とリズムや拍などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 (知:器) ②思いや意図に合った表現をするために必要な、互いのパートや楽器の音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。(技:器) ③言葉のリズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。(知:づ) ④思いや意図に合った表現をするために必要な、反復、呼びかけとこたえ、変化などの音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。(技:づ) ・『楽しいマーチ』のリズムの重なり方や音の強さの違いを確かめる。 ・リズムの重なり方や音の強さの違いを生かして、自分たちの表現を工夫する。 ・互いのパートの音を聴き合いながら、手拍子でリズムアンサンブルをする。 ・『いろんな木の実』の楽器の音色やリズムの特徴の面白さを感じ取って表現したり聴いたりする。 ・リズム伴奏の面白さを生かすためにはどのようにすればよいかを考えて、楽器の鳴らし方を工夫する。 ・楽器の音色や歌声に気を付けて、歌と楽器を合わせて演奏する。 ・『言葉でリズムアンサンブル』のリズムをつなげることで生まれるまとまりや面白さを感じ取る。 ・4文字の言葉を使い、リズムの組み合わせ方を工夫しながら8小節のリズムアンサンブルをつくる。	①リズム、強弱、音の重なり、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 (器) ②音色、リズム、音の重なり、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 (器) ③リズム、拍、反復、呼びかけとこたえ、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 (づ)	①拍子やリズムが生み出すよさや面白さに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。(器・づ) ◆国語科「夏の楽しみ」 ・夏の行事（地域のお祭り）などの俳句を書く。	
2 学 期 25	◎せんりつのとくちょうを感じ取ろう(8) ○ゆかいに歩けば ●陽気な船長 ♪白鳥 ○とんび（共）	(1)曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付ける。 (2)音色、リズム、旋律、強弱、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)旋律の特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる旋律の特徴に親しむ。	ア イ ウ(イ)	ア イ(ア) ウ(イ)	ア イ	ア★音色、リズム、旋律、 強弱、音の重なり ☆呼びかけとこたえ イ ピアノ メッツピアノ メッツォルテ フォルテ スタッカート	①曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。 (知:歌) ②思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌っている。(技:歌) ③曲想と音楽の構造との関わりに気付いている。(知:器) ④思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付けている。(知・技:器) ⑤曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付いている。(知:鑑)	①リズム、旋律、強弱、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 (歌) ②リズム、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもっている。 (器) ③音色、リズム、旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだしたりしながら曲全体を味わって聴いている。(鑑)	①旋律の特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組んでいる。(歌・器・鑑) ◆行事「運動会の取組」 ・八木節について知り、踊りを踊る。
	◆行事「学芸会・連合音楽会の取組」 ・群馬県の歴史や文化を知り、八木節を合奏する。								

<p>◎せんりつの重なりを感じ取ろう (9)</p> <p>○パレードホッホ ♪ファalandール ●サミングにちょうせん ●オーラリー ○もみじ (共)</p>	<p>(1)曲想及びその変化と、旋律や音の重なりなどの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や楽器の音、副次的な旋律、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。</p> <p>(2)リズム、旋律、音の重なり、反復や変化、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>(3)リズムや旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる旋律の重なりに親しむ。</p>	<p>ア イ ウ(ウ) ア イ(ア) (イ) ウ(イ) (ウ) ア イ</p> <p>ア★リズム、旋律、音の重なり ☆反復、変化 ☆音楽の縦と横との関係</p>	<p>①曲想及びその変化と、音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。(知:歌) ②曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付いている。(知:鑑) ③思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌っている。(技:歌) ④リコーダーの音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、音色や響きに気を付けて、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせてリコーダーを演奏している。(知・技:器) ⑤旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。(歌) ⑥旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。(器)</p>
<p>◎いろいろな音のひびきを楽しもう (8)</p> <p>□打楽器の音楽 ♪ポロネーズ ♪茶色の小びん ●茶色の小びん</p>	<p>(1)曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わり、いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴や、音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能や、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて演奏する技能、音楽づくりの技能を身に付ける。</p> <p>(2)音色、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>(3)楽器の材質や音の出る仕組みに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られるいろいろな音の響きに親しむ。</p>	<p>ア イ(イ) ウ(イ) (ウ) ア イ(ア) (イ) ウ(ア) (イ) ア イ イ シャープ</p> <p>ア★音色、旋律、強弱、音の重なり ☆音楽の縦と横との関係</p>	<p>①打楽器のいろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどを関わらせて気付いている。(知:づ) ②発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けて音楽をつくっている。(技:づ) ③音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどを関わらせて気付いている。(知:づ) ④思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けています。(技:づ) ⑤曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付いている。(知:鑑) ⑥楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりに気付いている。(知:器) ⑦楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりに気付き、音色や響きに気を付けて、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて演奏している。(知・技:器) ⑧音色、強弱、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。(歌) ⑨音色、強弱、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。(器)</p>

◆特別の教科 道徳
「祭りたいこ」
・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度を養う。

◆行事「伝統文化にふれる会」
・神田囃子並びに江戸木遣り鑑賞によって伝統文化にふれる。

◆総合的な学習の時間「きょう土のはってんにつくす」

3 学 期 18	<p>大会授業 ◎お茶小ばやしをつくろう (5) □お茶小ばやしをつくろう (神田囃子から発想を得た音楽づくり) ♪神田囃子『投げ合い』</p> <p>①音やフレーズのつなげ方などの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、旋律をつくる技能を身に付ける。 ②リズム、旋律、音階、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。 ③祭り囃子の音楽の特徴や旋律をつくる学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習に取り組み、地域の祭り囃子に親しむ。</p>		ア(イ) イ(イ) ウ(イ)	ア★リズム、 旋律 、音階 ☆反復、変化	<ul style="list-style-type: none"> ・神田祭りで録画した『投げ合い』を鑑賞し、祭り囃子の曲想や楽器の音色の特徴に気付く。 ・3つのリズムパターンから任意のものを選択し、神田囃子の音階を用いた2小節の旋律をつくる。 ・神田囃子保存会の方々のお話や演奏を実際に聞き、地域の伝統や祭り囃子に対する理解を深める。 ・班になって互いの旋律をつなげ、反復などの仕組みを用いて8小節のまとまりのある旋律をつくる。 	<p>①音やフレーズのつなげ方などの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。 (知:づ)</p> <p>②思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。 (技:づ)</p>	<p>①リズム、旋律、音階、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 (づ)</p>	<p>①祭り囃子の音楽の特徴や旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽ししながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。 (づ)</p>	・地域の伝統や文化について歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目し、自分たちにできることを考える。
	<p>◎日本の音楽でつながろう (5) ♪こと独奏による主題と6つの変奏「さくら」から ●ことをひいてみよう</p> <p>①曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりや、箏の音色や響きと演奏の仕方との関わりに気付き、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて旋律楽器を演奏する技能を身に付ける。 ②音色、旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつとともに、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴く。 ③日本の音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞や器楽の学習活動に取り組み、日本の楽器の音や音階に親しむ。</p>		ア イ(イ) ウ(イ)	ア イ	ア★音色、 旋律	<p>①曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりに気付いている。 (知:鑑)</p> <p>②箏の音色や響きと演奏の仕方との関わりに気付いている。 (知:器)</p> <p>③思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて琴を演奏する技能を身に付けている。 (技:器)</p>	<p>①音色、旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだししながら曲全体を味わって聴いている。 (鑑)</p> <p>②音色、旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 (器)</p>	<p>①日本の音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞や器楽の学習活動に取り組んでいる。 (器・鑑)</p>	<p>◆総合的な学習の時間「特色ある地いきと人々の暮らし」 ・地域の伝統文化を知り、昔のよさを未来に伝えるまちづくりについて考える。</p>
	<p>◎思いを音楽で表そう (8) ○赤いやねの家 ●鉄腕アトム ♪山の魔王の宮殿にて ○国歌『君が代』</p> <p>①曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 ②音色、旋律、速度、強弱、反復や変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつたり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 ③曲想を感じ取ることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、曲に対する思いや曲のよさなどを、友達と共に共有する活動に親しむ。</p>		ア イ ウ(イ)	ア イ(イ) ウ(イ)	ア イ	ア★音色、 旋律 、速度、 強弱 ☆反復、変化	<p>①曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。 (知:歌)</p> <p>②思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌っている。 (技:歌)</p> <p>③曲想と音楽の構造との関わりに気付いている。 (知:器)</p> <p>④思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けています。 (技:器)</p> <p>⑤曲想及びその変化と、旋律、速度、強弱、反復や変化との関わりに気付いている。 (知:鑑)</p>	<p>①旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 (歌)</p> <p>②音色、旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 (器)</p> <p>③旋律、速度、強弱、反復や変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いている。 (鑑)</p>	<p>①曲想を感じ取ることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組んでいる。 (歌・器・鑑)</p>